



行谷小学校 学校だより

日本一のトキの学校

トキっ子

第9号 [12月号]

令和元年12月19日発行



シリーズ「新しい時代の幕開け」

何が見えますか？ 12月10日「人権デー」



校長 笠井 猛雄

12月10日、ノーベル賞の受賞式がスウェーデンのストックホルムで行われました。日本からは、ノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんが受賞式に参加しました。リチウムイオン電池を開発した吉野さんの功績については、11月の全校朝会で子どもたちに紹介しました。（「学校だより」11月号を参照）12月の全校朝会では、もうひとつの「12月10日」について話をしました。

12月10日は、「世界人権宣言」が発表された日、「人権デー」です。12月4日から12月10日の「人権デー」までの人権週間では、「人を差別したり仲間はずれにすることをやめよう！」という取組が日本各地で行われます。

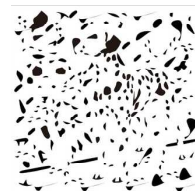
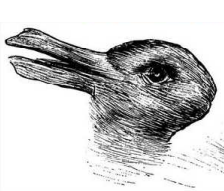
学校では、「人権教育強調週間」として、自分の周りにいる人たちの人権を尊重することはもちろん、自分自身も大切にできるようにするために、先月の「いじめ見逃しゼロ強調月間」の取組を踏まえた学級活動や人権に関わる道徳の授業を実施したり、学級担任と一人一人との面談を実施したりしました。全校朝会では、この取組に関わり、いくつかの絵画を例に話をしました。



例えば、この絵（左図）は見方によっては、「壺」にも見えるし、「人の顔」にも見えます。でも、一度こうだと「思い込む」と、ほかに何も見えなくなってしまうことがあります。だから、「見えない」と決めつけないで、よく見るのが大切です。

*

人を差別したり、仲間はずれにしたりすることをなくすためには、「思い込み」を一度取り去って、あの人は「こんな人だ」と決めつけないようにすることが大切です。まわりの友達や仲間には、いろいろないいところがあると思います。一緒に遊んだり、話をしたりしながら、いいところをたくさん見付けてあげてください。これは、自分のことにも当てはまります。自分は運動が苦手だとか、自分は勉強ができないとか思い込んでいる人はいませんか？本当にそうでしょうか？苦手だと思っていたことも、挑戦してみるとすぐにできたり、楽しくなったりすることもあります。「できない」と思い込まないで、あきらめずに、いろいろなことに挑戦してみてください。



「何が見えますか？」 決めつけず、あきらめず、思い込みを取り去って見てみましょう。

全校朝会が終わった後、一人の子が上の絵を眺めてつぶやきました。

「校長先生、この絵は心が澄んでいないと見えませんね…。」

休み時間には数名の子が校長室に来て、（上の一番右の絵を見て）「カンガルーが見えた」「魚が見えた」「犬が見えます」などと教えてくれました。

子どもたちには、大人には見えづらい様々なものが見えるようです。

これからも「思い込み」のない“澄んだ心”をもち続けていってほしいと思います。

2学期のご支援と協力ありがとうございました。何かと忙しい年末年始ですが、安全に留意され、よいお年をお迎えください。私は子どもたちに学び、「明鏡止水の心」を胸に刻み、新しい年を迎えたいと思います。